

島根原子力発電所 放射性廃棄物及び使用済燃料の管理状況  
(平成 23 年 2 月)

## 1. 放射性気体廃棄物

単位：Bq

		放射性希ガス	放射性よう素 ( $^{131}\text{I}$ )
原子炉施設合計		※1 ND	※2 ND
号機別 内訳	1号機	※1 ND	※2 ND
	2号機	※1 ND	※2 ND
年間放出管理目標値		$8.4 \times 10^{14}$	$4.3 \times 10^{10}$
サイトバンカ建物		—	※2 ND

放射性気体廃棄物のうちトリチウム、全粒子状物質の管理状況（平成22年10月～12月）については別紙のとおり

※1 ND：検出限界値 約 $2 \times 10^{-2} \text{Bq}/\text{cm}^3$ 以下

※2 ND：検出限界値 約 $7 \times 10^{-9} \text{Bq}/\text{cm}^3$ 以下

## 2. 放射性液体廃棄物

単位：Bq

		トリチウムを除く	トリチウム	トリチウム (年度積算値)
原子炉施設合計		※3 ND	$2.1 \times 10^{10}$	$1.9 \times 10^{11}$
放水口 別内訳	1号放水路	放出実績なし	放出実績なし	$7.9 \times 10^{10}$
	2号放水路	※3 ND	$2.1 \times 10^{10}$	$1.1 \times 10^{11}$
年間放出管理目標値		$7.4 \times 10^{10}$	—	※4 $7.4 \times 10^{12}$

※3 ND：検出限界値 約 $2 \times 10^{-2} \text{Bq}/\text{cm}^3$ 以下 ( $^{60}\text{Co}$ 代表)

※4 年間放出管理の基準値を示す。

## 3. 放射性固体廃棄物

ドラム缶発生量 (本)	300
その他の種類の発生量 (本相当)	63
ドラム缶保管量 (本)	※5 24, 253
その他の種類の保管量 (本相当)	※6 3, 402
焼却灰発生量 (本)	0

※5 当月中焼却量 (19本), ドラム缶減容処理量 (269本) 及び低レベル放射性廃棄物処理センター搬出量 (0本) を差し引いた数値

※6 当月中雑物焼却量 (0本相当) 及び雑物減容処理量 (0本相当) を差し引いた数値

## 4. 使用済燃料等の保管状況

	1号燃料プール	2号燃料プール	サイトバンカ貯蔵プール
使用済燃料 (体)	322	1, 956	—
制御棒 (本)	29	65	175
チャンネルボックス (本)	322	1, 956	1, 582
ポイズンカーテン (本)	13	0	161
中性子検出器 (本)	42	54	331
その他 ( $\text{m}^3$ )	0	0	56

島根原子力発電所 放射性廃棄物及び使用済燃料の管理状況  
(平成22年10月～12月)

1. 放射性気体廃棄物 (単位：Bq)

		トリチウム			全粒子状物質 (10月～12月合計値)		
		10月	11月	12月	γ線放出核種	<sup>89</sup> Sr, <sup>90</sup> Sr	全α放射能
原子炉施設合計*4		3.0×10 <sup>10</sup>	2.0×10 <sup>10</sup>	1.6×10 <sup>10</sup>	*1 ND	*2 ND	*3 ND
号機別 内 訳	1号機	7.6×10 <sup>9</sup>	7.8×10 <sup>9</sup>	5.6×10 <sup>9</sup>	*1 ND	*2 ND	*3 ND
	2号機	2.2×10 <sup>10</sup>	1.3×10 <sup>10</sup>	1.0×10 <sup>10</sup>	*1 ND	*2 ND	*3 ND
年間放出管理目標値		—			—		
サイトバンカ建物		4.9×10 <sup>8</sup>	4.7×10 <sup>7</sup>	*5 放出実績なし	*1 ND	*2 ND	*3 ND

- \*1 ND：検出限界値 約4×10<sup>-9</sup>Bq/cm<sup>3</sup>以下 (<sup>60</sup>Co代表)
- \*2 ND：検出限界値 約4×10<sup>-10</sup>Bq/cm<sup>3</sup>以下 (<sup>90</sup>Sr代表)
- \*3 ND：検出限界値 約4×10<sup>-10</sup>Bq/cm<sup>3</sup>以下
- \*4       ：原子炉施設合計値は，端数処理の関係で一致しない場合がある。
- \*5       ：サイトバンカ建物空調換気系及び焼却炉排気系停止のため，放出実績なし。